

# だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里  
「だいち」広報委員会  
〒349-0101  
埼玉県蓮田市黒浜1045-1  
TEL 048-764-3881  
FAX 048-764-7788  
H P <http://minuma-hukushi.com/>

# ふたば



書：関口 忠司

## 巻頭コラム

みなさんこんにちは。3月に2週間実習でお世話になり、4月から宿直のアルバイトとして来ています。山口柚花です。実習の時は大変お世話になりました。今まで知らなかった事を大地の仲間のみなさんから教えていただき、学ぶことが出来ました。ありがとうございます。今度は月に何回かですが、宿直としてお世話になります。まだまだ皆さんにお聞きすることもたくさんあるとは思いますが、一生懸命やっていきたいと思っています。また、みなさんとたくさんお話したいと思っていますので、皆さんの楽しいお話を聞かせてください。これからよろしくお願ひします。

山口柚花（宿直）

## 日帰り旅行 海

7月10日に海に行く日帰り旅行に行ってきました。参加した仲間は秋山さん、安藤さん、篠原さん、新井さん、池田さん、黒沢さん、関根さん。家族は秋山お母さん、新井お母さん。職員は中村さん、堀江さん、面来さん、花田さん、白濱さん、野村の合計15人の旅行でした。今回の旅行のテーマは「海を見に行く」「フェリー（船）にのる」「おいしい海鮮料理を食べる」の三点でした。天候が不安定な時期で当日の天気心配されましたが、旅行の当日のみちょうど天気は快晴でした。「日頃の行いが良いから」「雨女の力に晴れ女の力が勝った」などと車中で話しながら神奈川県久里浜港に向かいました。久里浜港に到着し東京湾フェリーに車2台と15

人が乗船しました。ここからが大仕事だったのですがフェリーの中にはエレベーターがなく1階のデッキは海を臨むロケーションがまいちです。「もっといい景色を仲間に見せたい」という職員の欲から、2階まで仲間を抱えて階段で上がりそのあと車椅子を2階へ運ぶを繰り返しました。



2階のデッキからは遠くまで見渡すことができ風が気持ちよかつ

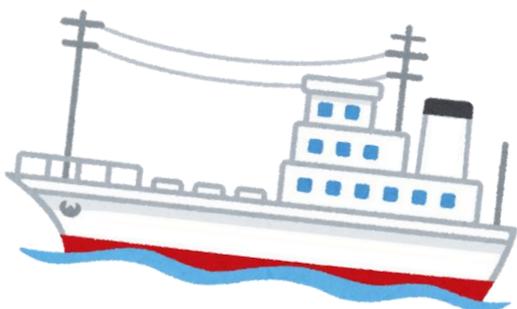
たです。約40分の航路を経て金谷港に到着しました。そこから車で10分ほどの「漁師料理かなや」で昼食を食べました。メニューはお刺身の盛り合わせ、鯛の釜飯、海鮮丼とそれぞれ好きなメニューを注文しました。仲間たちは普段よりも多い量の食事をペロリと平らげて満足げな表情でした。

少々のお土産タイムを挟み、市原サービスエリアに向かいました。ここではトイシとお土産タイムです。みんななどんなお土産を買おうかと思いを馳せていました。市原サービスエリアに到着し少々トラブルはあったものの、みんなでおやつを食べたり、ちょっと体を伸ばして休憩したりして過ごしました。帰りの車中でも「フェリーに乗れて楽しかった」「海がきれいだった」「ご飯が美味しかった」

などと談笑しながら大地へ向かいました。

日帰り旅行という時間の限られた旅行ではありましたが、天気も良く事故もなくスケジュール通りに帰ってくる事が出来ました。少し日に焼けた満足げな仲間の顔を見て「がんばってよかった」と思いました。

野村 勇作（職員）



大地の作品展「風・ふう・歩」を開催。今回で15回目となりました。

作品展にむけて仲間と話し合いをしました。仲間たちは、「地域の人たちに来てもらいたい」「作品を通して普段どのようなことをしているのか知ってほしい」「自分たちが頑張っていることを見てもらいたい」という意見ができました。

今年度から作品展、喫茶とも、営業時間が短くなりました。でも、作品展の売上目標は『昨年度より売りあげること』と主張する仲間たち。その目標を実現するためにどんなことが必要かを考えました。すると仲間たちから「笑顔で接客」「店番で説明をする」などの意見ができました。実際の売り上げは、目標には足りませんが、大地の仲間がみんなで交代しながら店番してくれました。お客さ



んとやり取りをしている様子は、普段の表情とは違う真剣な表情。一生懸命に説明していたり、笑顔で「いらっしやいませ。この石けんは…」と、丁寧に説明しながら接客している仲間たち。いつもと違う一面が見られたことも、売り上げだけではない、成果のひとつです。

今年度も「園芸教室」「さをり体験教室」「書の実演」などの恒

例となっている企画を実施。たくさんの方に参加して頂き、盛況でした。また「喫茶」では、作品を見ながら、美味しいケーキと飲み物を楽しむことも出来ていました。

作品展の度に見せてくれる懐かしい人たち。「ふと思い出すけれど、なかなか大地に足を運ぶ機会がない」そんな人たちが、作品展を良い機会に仲間たちに会いに来てくれます。また、来ることは出来なくても、思い出してメールなどの連絡をくれる人たちがいます。定期的に作品展をおこなうことで、お知らせが来ること、仲間たちに会えることを大切に思ってくれている人たちがいることも嬉しく感じています。

最後になりましたが、作品展にご来場いただいた皆さま、広報活動をはじめ、作品展にご協力頂いた皆さま。作品展や喫茶を支えてくださったボランティアの皆さま。たくさんの方の支えの中で、大地



の作品展は、おこなうことができています。ご協力頂いた皆さま、本当にありがとうございます。

(大地 仲間、職員一同)



## 新任職員研修

新任職員研修に行ってきました。プログラムの中では、仲間や家族の声を直接聞いたり、他の施設の先輩職員の講演、工房集の活動の紹介など、普段関わることの出来ないみぬま福祉会の様々な部分を知ることが出来ました。また、同期の皆さんと二日間という時間を過ごす中で、それぞれの現場の実情や、仲間の暮らし、仕事について感じていることなど多方面での意見交換をすることができ、改めて自らの支援を見つめ直すきっかけになりました。そして何より、これから共に仲間たちの暮らしを支えていく同期の皆さんと交流を深める事ができたので、これからも声を掛け合いながら日々高め合っていけたらなと思います。

小林 颯太（職員）

## 新任職員研修では、「みぬま福

社会のことを知ろう」「職員としての心構えを持とう」「同期のつながりを作ろう」の3つのコンセプトのもと研修が行われました。

研修の中で仲間からのメッセージにあった「困ったことにぶつかったとき、一緒に乗り越えてほしい」という言葉はとても印象に残っています。まだまだ仲間や先輩職員に助けってもらってばかりですが、私も少しずつ仲間の力になれたらと思います。

研修を通して、みぬま福祉会には、素敵な仲間や家族、先輩職員、そして同期がたくさんいることを改めて感じました。困ったときは皆さんの力もお借りしながら、これからも頑張っていきたいと思えます。

宮本 歩実（職員）

## 平和行進

7月19日（金）、蓮田市の平和行進に参加してきました。

今から74年前の8月6日広島、9日長崎に、アメリカは原子爆弾を投下しました。原爆は、一瞬にして2つの街を破壊し、その年のうちに21万人もの尊い命が奪われました。このような悲しみが二度と繰り返されないよう、「歩く」という誰でも参加できる行動で全国各地をリレーしながら、原水爆禁止の願いをつなげていく行動が「平和行進」です。5月から8月の広島、長崎まで毎年続けられる行動は、今年で61年目となり、世界にも類をみません。

蓮田地域の平和行進当日は、蓮田市の議員さんや地域の会の方がたくさん集まり、それぞれの平和への思いや願いを語りながら、思

いを一つに。その後、蓮田図書館付近から蓮田駅まで「核兵器をなくそう!」「命は宝!」など、みんな風船を片手にコールをしながら行進しました。途中から大粒の雨が降ってきてしまいましたが、それでもみんなの「平和は大事!」という大きな声が響き渡っていました。みんなの平和への思いのバトンが、次へと引き継がれたのではないのでしょうか。

「なくそう核兵器 いかそう9条」

中村 智恵（職員）



## リハビリ

リハビリでは、仲間たちにリハビリに対する意欲を強く持つてもらいたいと、仲間一人一人に違った様々な声かけをして、意欲に働きかけています。実際に、リハビリの必要性を分かっていて、意欲を持って積極的にリハビリをしている仲間達はリハビリの効果が充分に出ています。リハビリは痛くて辛い時間かもしれませんが、その先にあるもの、例えば「もっと上手に歩けるようになりたい」と意欲を持ってリハビリに向き合っていれば、いずれ上手く歩けるようになる確率は断然に上がります。スポーツ選手も怪我した時、辛いリハビリを乗り越えてでもその先にあるものを見据えてリハビリに取り組んでいます。

朝の情報番組で取り上げていた

ことですが、例えば足を動かす事の出来ない人が、「足を動かせるようになりたい」と強く思うことで、脳からの伝令が体に伝わり、今は動かす事が出来なくても、それを思い続けることで効果は変わる。催眠療法として脳科学的にも証明されていて治療に使われていると紹介されていました。意欲を持ってリハビリをしている仲間たちの効果を目にして、すべての仲間に意欲を持ってもらいたい、と感じています。

仲間達の中にはリハビリの重要性を理解出来ず意欲のない仲間もいます。仲間達一人ひとりに合った声かけをして、一人でも多くの仲間達が意欲を持った上でリハビリに取り組んでほしいな、と思っています。

堀江 正人（職員）

## 文化

今年度の文化担当の仲間には秋山さん、小坂井さん、田嶋さん、近野さん、関口さん、岩上さん、玉

枝さんです。田嶋さんは水曜日の体重測定担当、近野さんは木曜日の読み聞かせ担当、秋山さんは金曜日の身だしなみ担当、小坂井さんは週末の話し合い担当、関口さんは環境の日と夏の打ち上げ担当、岩上さんは環境の日担当、玉枝さんは夏の打ち上げ担当とそれぞれに役割を持ってもらっています。

担当の仲間には活動に必要な道具を持ってきてもらっています。他の仲間から「よろしくね」「ありがとう」と声をかけてもらっています。他者から頼りにされたり、お礼を言われたりするのは嬉しいですね。文化担当の仲間に限らずですが、こういった当たり前の

声かけに改めてスポットをあて、やりとりを大事にすることを大切にしていきます。

文化担当はほかに日用品の買い出しに行ってもらっています。月1回、文化担当が順番に薬局に行き、仲間の日用品に必要なもの、医務からお願ひされたものなど買ってきてもらっています。これまでにベープ、汗ふきシート、洗口液などを買ってきてもらいました。日曜外出でもそうですが、買い物に出かけることで経験や体験を増やすことができたり、社会とつながりをもつことに繋がるのではないかと思います。今はまだ文化担当の仲間だけですが、買い物の取り組みが定着してきたら他の仲間も行けるといいなと考えています。

小田嶋里佐（職員）

# なかまと

# みんなの

# 輪

近野茂治の

ちかにつき



お母さんと一緒に花火を  
みました。

ベランダから見える花火  
がきれいだったよ。



詩のコーナー

ちかにつきの

ふたつ

あつし、あつしにふりました

いっつもあつしのはにかいてる

ことしはどんどんと

あつし、あつし、あつし、あつし

あつし、あつし、あつし、あつし

2019.7.23



# ななかま なかよく

てあらい あと うがいもね  
うがいができないひとは  
がーぜでよくぶく  
かぜきんがある

みやよし

# まりこの 素敵な日常



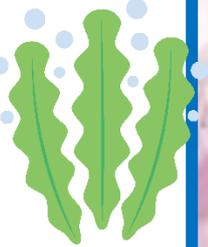
おとうさんとかいものにい  
きました。いとようじと、  
とけいのでんちをかいまし  
た。

まりこ

# 鈴木潤のACTIVE あくていぶ



8月1日からはじめてのあま  
みおおしまでダイビングしまし  
た。3日ももぐりました。やっ  
ぱりおきなわのうみがよかつた  
でした。



# ボランティア募集中

## ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

### ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

### ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力をお願いします。

①ボランティア担当（面来、北隅）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう  
ございました!



（順不同）

岩上 めぐみ 様

令和元年7月度に寄付して下さいました方

ありがとうございました

## 大地の9月の予定

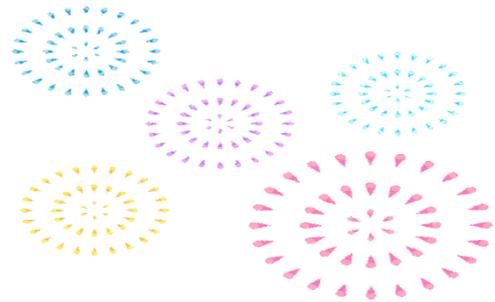
11日	(水)	日帰り旅行
14日	(土)	職員会議
18日	(水)	日帰り旅行
19日	(木)	第三期将来構想事業 全体会
20日	(金)	きょうせけん県 懇談会
29日	(日)	大地まつり

## 四方山話

よもやまばなし  
みんなのおしゃべり広場

今月の担当…岡部菜

大地で働き始めて3年目…仕事中に色々と声を掛けてもらいますが、中でもよく言われるのが「Tシャツにプリントしてある外国人は誰?」という質問です。私は仕事の時はほとんど外国人がプリントされているTシャツを着ています。私の趣味は海外のアーティストのライブに行くことです。母親の影響で洋楽漬けの日々を過ごし、高校生の時に初めてライブに行ってからさらにハマり、最近では月に1回、多いときで月に5回ライブに行った時もありました。行く度に会場でTシャツを買いますが、着る機会がなく…筆筒で眠っていたTシャツを着て働いてみると、仲間のみんなが興味を示してくれ、Tシャツに載っている顔を指さす仲間、じーっと見つめる仲間など、話のきっかけのひとつにすることが出来、入職当時とても助かったのは良い思い出です。音楽のライブ、本当に本当に楽しいので皆さんもぜひ行ってみたいいかがでしょうか!



### 課業より

今年度の「作品展」では、久々にラベンダーのドライフラワーが出せた…と聞きました。

株を新しくして、冬を越して、肥料や周囲の草刈りをして、今年度はやっと太く・大きく育ちました。誰にでも買ってもらえる品物を目指して製品化しました。

他より少し安く、量も多く、見た目や実が落ちない工夫も施しました。製品は独り歩きますから、競争力って結構大事です。



高崎隆夫（職員）

<広報だいち> 広報委員会（職員）高橋・野村・岡部・宮本  
（仲間）田村・神永・関口・近野・戸谷・鈴木